

# 総務環境委員会資料

平成23年10月6日

環境局

# 目 次

	頁
1 環境局の圧縮額への対応 -----	1
2 環境費の特定財源の内訳 -----	2
3 研究所見直し検討会で委託可能とした業務内容 -----	3
4 大気汚染常時監視の結果 -----	4
5 国道23号沿道の大気汚染常時監視の結果 -----	5
6 古紙持ち去り被害件数 -----	6
7 古紙持ち去り被害量の推計 -----	7
8 使用済小型家電回収モデル事業の概要と課題 -----	8
9 設備外乗車廃止の時期及び作業時間の差 -----	9
10 区別し尿収集対象戸数と収集車両数 -----	10
11 路上禁煙の事業費内訳と指導員の勤務体制 -----	11
12 路上禁煙等指導員に対する傷害事件の概要と対策 -----	12
13 過料の実績、課題と徴収状況 -----	13
14 過料処分の推移と複数回処分を受けた者の数 -----	14
15 政令指定都市の喫煙率 -----	15
16 焼却工場別の事業費と処理単価 -----	16
17 焼却工場別の維持補修費 -----	17
18 南陽工場の維持補修費の内訳 -----	18
19 溶融メタル生成量の推移 -----	20
20 溶融メタルの成分 -----	21
21 五条川工場の溶融メタルの売却単価等 -----	22
22 本市と他都市の溶融メタル生成量と売却金額 -----	23
23 溶融スラグの利活用実績 -----	24
24 焼却工場別のCO <sub>2</sub> 排出量 -----	25
25 市民の声に寄せられた環境局への苦情件数 -----	26
26 交通事故件数 -----	27
27 懲戒処分の概要 -----	28

# 1 環境局の圧縮額への対応

(単位：千円)

区 分		見直し額
事務事業の見直し	焼却工場等の経常的維持補修	153,765
	し尿作業場の水道料等	16,177
	不燃ごみの他都市処理委託	140,000
	大気汚染常時監視測定局	18,614
	民間処分場への焼却灰の処分委託	76,029
	その他	134,701
	小 計	539,286
歳入の確保	自動販売機設置貸付料	16,482
	新工場建設に係るごみ処理受託収入	831,650
	小 計	848,132
合 計		1,387,418

## 2 環境費の特定財源の内訳

(単位：千円)

区 分		当初予算額	説 明	
国庫支出金		117,090	公害健康被害補償給付事務費補助金等	
県支出金		21,704	住宅用太陽光発電設備設置助成費補助 産業廃棄物適正処理推進事業費補助等	
地方債		346,000	西環境事業所改築等	
使用料及び手数料	廃棄物処理業手数料	85,041		
	ごみ処理手数料	4,295,544	自己搬入手数料等	
	仮設便所し尿処理手数料	51,347		
	その他の手数料等	7,537		
財産収入	不動産収入	17,377	自動販売機設置貸付料	
	物品売払代	800,812	金属等売払	
繰入金		17,528	環境保全基金繰入金	
諸収入	過料	8,000	路上禁煙違反者に科す過料	
	補償費受入	2,806,913	公害健康被害補償給付	
	環境雑入	他市町ごみ搬入手数料	519,602	
		新工場建設に係るごみ処理受託収入	831,650	
		容器包装の再商品化に係る配当金	273,206	
		ペットボトル売却益配当金	49,611	
		その他	106,944	
その他	283,359	環境保全設備資金貸付金返還等		
合計		10,639,265		

### 3 研究所見直し検討会で委託可能 とした業務内容

- (1) 工場の排出ガス中の窒素酸化物測定
- (2) 工場で使用している燃料中の硫黄分測定
- (3) 工場の排出ガス中の揮発性有機化合物測定
- (4) 解体現場における大気中のアスベスト濃度測定
- (5) 建築物吹付け材のアスベスト含有量測定
- (6) 一般環境におけるアスベスト濃度測定
- (7) 悪臭定期監視事業における悪臭測定
- (8) 自動車騒音定期監視事業における騒音測定
- (9) 排水基準監視事業における排出水の水質測定
- (10) 総量規制基準監視事業における排出水の水質測定
- (11) 小規模事業場における排出水の水質測定
- (12) 大江川底質環境測定
- (13) 地下水汚染判明時における周辺井戸水の水質測定

# 4 大気汚染常時監視の結果

項目名		二酸化窒素 (ppm)		光化学オキシダント (ppm)	
		環境基準		0.06	
測定局名		98%値		1時間値の最高値	
		平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度
一般環境大気測定局	国設名古屋大気環境測定所	○ 0.033	○ 0.032	<i>0.137</i>	<i>0.136</i>
	愛知工業高校	○ 0.037	○ 0.038	<i>0.127</i>	<i>0.115</i>
	中村保健所	○ 0.037	○ 0.036	—	<i>0.110</i>
	滝川小学校	○ 0.034	○ 0.035	<i>0.127</i>	<i>0.116</i>
	市衛生研究所	○ 0.034	—	<i>0.129</i>	—
	八幡中学校	○ 0.039	○ 0.036	<i>0.124</i>	<i>0.118</i>
	中川保健所	○ 0.037	—	—	—
	富田支所	○ 0.039	○ 0.033	<i>0.126</i>	<i>0.119</i>
	南陽支所	○ 0.032	—	<i>0.133</i>	—
	惟信高校	○ 0.039	○ 0.037	<i>0.117</i>	<i>0.130</i>
	白水小学校	0.048	0.044	<i>0.119</i>	<i>0.112</i>
	守山保健所	○ 0.035	○ 0.035	<i>0.126</i>	<i>0.116</i>
	志段味支所	○ 0.028	—	<i>0.144</i>	—
	大高北小学校	0.041	○ 0.040	—	<i>0.105</i>
	鳴海配水場	○ 0.036	—	<i>0.124</i>	—
	名東保健所	○ 0.036	—	<i>0.101</i>	—
	天白保健所	○ 0.039	○ 0.038	—	<i>0.107</i>
環境基準の達成状況		17/17	11/11	0/13	0/11
自動車排出ガス測定局	千種区役所	○ 0.037	—	—	—
	東桜	0.043	—	—	—
	上下水道局北営業所	0.045	0.042	—	—
	名塚中学校	0.041	○ 0.036	—	<i>0.109</i>
	松蔭高校	○ 0.037	—	—	—
	テレビ塔	0.043	○ 0.039	<i>0.129</i>	<i>0.106</i>
	昭和保健所	0.043	—	—	—
	熱田複合施設	0.041	—	—	—
	熱田神宮公園	0.043	0.042	—	—
	港陽	0.046	○ 0.040	—	<i>0.105</i>
	千竈	0.042	○ 0.039	—	—
元塩公園	<i>0.062</i>	0.056	—	—	
環境基準の達成状況		11/12	7/7	0/1	0/3

(注1) 環境基準を達成していない場合は、ゴシック体で示す。

(注2) 環境基準の達成状況の欄の数字は、「達成局数/測定局数」を示す。

(注3) 二酸化窒素の環境目標値(0.04ppm以下)を達成した場合は、○で示す。

# 5 国道23号沿道の大気汚染 常時監視の結果

項目名 (単位)	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )
	環境基準	0.10
測定局名	98%値	2%除外値
宝神観測局	0.057	0.068
いろは町観測局	0.048	0.068
東築地町観測局	0.049	0.057
七条町観測局	0.042	0.066
要町観測局	<b>0.066</b>	0.070
環境基準の達成状況	4/5	5/5

(注1) 管理者は中部地方整備局である。

(注2) 環境基準を達成していない場合は、ゴシック体で示す。

(注3) 環境基準の達成状況の欄の数字は、「達成局数/測定局数」を示す。

## 6 古紙持ち去り被害件数

区 分	拠点回収		各戸回収		合 計	
	被 害 学区数	通 報 件 数	被 害 学区数	通 報 件 数	被 害 学区数	通 報 件 数
千種区	12	46	—	—	12	46
東 区	—	—	1	2	1	2
北 区	2	2	2	2	4	4
西 区	4	6	5	8	9	14
中村区	7	12	2	4	9	16
中 区	3	10	—	—	3	10
昭和区	—	—	1	1	1	1
瑞穂区	1	2	—	—	1	2
熱田区	1	3	—	—	1	3
中川区	3	5	6	7	9	12
港 区	11	28	1	3	12	31
南 区	6	10	—	—	6	10
守山区	2	2	—	—	2	2
緑 区	1	2	1	1	2	3
名東区	16	51	—	—	16	51
天白区	2	2	6	16	8	18
合 計	71	181	25	44	96	225

(注) 通報件数は、学区協議会方式における住民及び回収業者からの通報の集計である。



# 7 古紙持ち去り被害量の推計

## (1) 本市の推計結果

持ち去り被害量	470トン
推計方法	<p>① 持ち去り発生以前（平成22年1月～6月）の学区協議会方式回収量の対前年減少率：△6.4%</p> <p>② 平成22年7月以降、毎月の回収量が前年同月に比べ①を超えて減少した分を持ち去り量と推計</p> <p>③ 平成22年7月から平成23年3月分までの持ち去り量を累計</p>

## (2) 名古屋リサイクル協同組合の推計結果

### ア 全国古紙回収量と比較する方法

持ち去り被害量	2,200トン
推計方法	<p>① 平成22年度全国古紙回収量の対前年減少率：△1.06%</p> <p>② 平成22年学区協議会方式の対前年減少率：△6.57%</p> <p>③ ①と②の差：△5.51%を持ち去り量と推計</p>

### イ 一般方式の回収量と比較する方法

持ち去り被害量	1,800トン
推計方法	<p>① 平成22年一般方式の対前年減少率：△2.05%</p> <p>② 平成22年学区協議会方式の対前年減少率：△6.57%</p> <p>③ ①と②の差：△4.52%を持ち去り量と推計</p>

# 8 使用済小型家電回収モデル事業の概要と課題

主 体	国（経済産業省・環境省）		
目 的	住民から排出される多種多様の小型家電の効率的・効果的な回収方法や適正処理の検討を行うため、回収、分解・解体・破碎・選別などの中間処理、レアメタルの回収及び有害物質の適正処理を行うもの。		
回収拠点	リサイクルステーション、古紙リサイクルセンター、ショッピングセンター等の店頭など市内32箇所		
回収品目	不燃ごみに該当する30cm角以下の使用済小型家電		
実 績	回収期間	平成21年11月20日 ┌ 平成22年3月31日	平成22年4月1日 ┌ 平成22年12月31日
	重 量	7.2トン	12.0トン
	個 数	12,534個	13,705個
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回収量を確保するため、複数の回収システムの組み合わせや、広域的な収集運搬に係る廃棄物処理法上の規制や手続について検討が必要</li> <li>・中間処理で採算性を確保するため、回収対象鉱種に応じた品目の分類や、手分解・機械破碎等の処理方法の組み合わせにより、処理コストの削減や処理産物の付加価値を高めることが重要</li> <li>・効率的で高精度な回収システムの構築には、幅広い関係者間の情報共有と役割分担の整理をしながら進めていくことが重要</li> </ul>		

# 9 設備外乗車廃止の時期及び作業時間の差

区 分		内 容		
廃 止 時 期		平成18年10月		
廃止に至った経緯		<p>収集作業中のバンパーからの転落事故の発生などにより、愛知県警からは設備外乗車の違法性、愛知労働局からは作業の危険性の指摘を受け、作業方法の改善を求められた。</p>		
1日あたりの作業時間	車 種	平成17年度	平成22年度	差
	大型プレス車	320分	336分	16分
	小型プレス車	300分	320分	20分
職 員 の 声		<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備外乗車の廃止時には、収集作業への影響が大きいため、必要な人員体制を確保するよう要望があった。</li> <li>・平成22年度については、夏期の作業が特に大変であるため、熱中症対策などしっかり対応して欲しいとの声があった。</li> </ul>		

# 10 区別し尿収集対象戸数と収集車両数

区 分	収集対象戸数	車 両 数		
		中型吸上車	小型吸上車	合 計
千 種 区	25戸	15両	5両	20両
東 区	4戸			
北 区	216戸			
西 区	392戸			
中 村 区	14戸			
中 区	4戸			
昭 和 区	7戸			
瑞 穂 区	8戸			
熱 田 区	6戸			
中 川 区	930戸			
港 区	1,114戸			
南 区	44戸			
守 山 区	691戸			
緑 区	508戸			
名 東 区	49戸			
天 白 区	147戸			
計	4,159戸			

(注1) 収集戸数は、平成22年度末の戸数である。

(注2) 収集車両には、予備車両を含む。

# 1 1 路上禁煙の事業費内訳と指導員の勤務体制

## (1) 事業費内訳

(単位：千円)

内 容		事 業 費
人件費	指導員報酬、通勤費等	57,243
物件費	広報、啓発 (表示類の設置・維持、交通広告等)	9,931
	その他 (通信料、市内出張旅費等)	3,447
計		70,621

## (2) 勤務体制

人 数	16名
指導時間	午前8時00分～午後8時00分(原則)
指導体制	原則2名1班の8班体制、ローテーション勤務
勤務時間	6時間/日
勤務時間の割振り	A勤務 午前 8時00分 ～ 午後3時00分 B勤務 午前10時00分 ～ 午後5時00分 C勤務 午後 1時00分 ～ 午後8時00分 D勤務 午前 7時00分 ～ 午後2時00分 E勤務 午後 0時00分 ～ 午後7時00分

(注1) A勤務～E勤務の各勤務時間には1時間の休憩時間を含む。

(注2) D勤務は早朝キャンペーン等に適用する。

# 1 2 路上禁煙等指導員に対する傷害事件の概要と対策

## (1) 概要

日 時	平成22年10月14日 午後4時50分ごろ
発生場所	名古屋市中区栄三丁目 歩道上
被害者	名古屋市環境局路上禁煙等指導員
加害者	風俗店従業員 男性 29歳
受傷程度	左眼球破裂
状 況	<p>指導員A（被害者）が指導員Bとともに路上禁煙のパトロールで栄交差点周辺を巡回中、市民から喫煙者がいる旨の連絡があったため、現場に急行した。</p> <p>路上禁煙地区内で喫煙中の男性C（加害者）を発見したため、声をかけ、過料処分の手続きを行おうとした。</p> <p>指導員による条例の説明にCが納得をせず、過料支払いのやり取りの中、Cの知人が過料2,000円を立て替えてAに手渡そうとしたところ、Cが止めると同時にAの顔面を殴打し、左眼球破裂を負わせた。</p>
そ の 他	加害者は、平成22年12月21日、名古屋地方裁判所にて懲役1年6月の実刑判決を受けた。

## (2) 対策

- ・ 薄暮にかかるパトロールの際は、同じ地区に複数班を配置するか、1班のみの配置の場合は人員を2名から3名に増強する。なお、複数班を配置した場合は班の連携を取る。
- ・ 指導の際は、丁寧な言葉使いや態度を徹底する。
- ・ 暴力を突然受けることを回避するために、各指導員の役割分担を徹底し、対象者の動向に常に注意を払う。

# 1 3 過料の実績、課題と徴収状況

(1) 実績

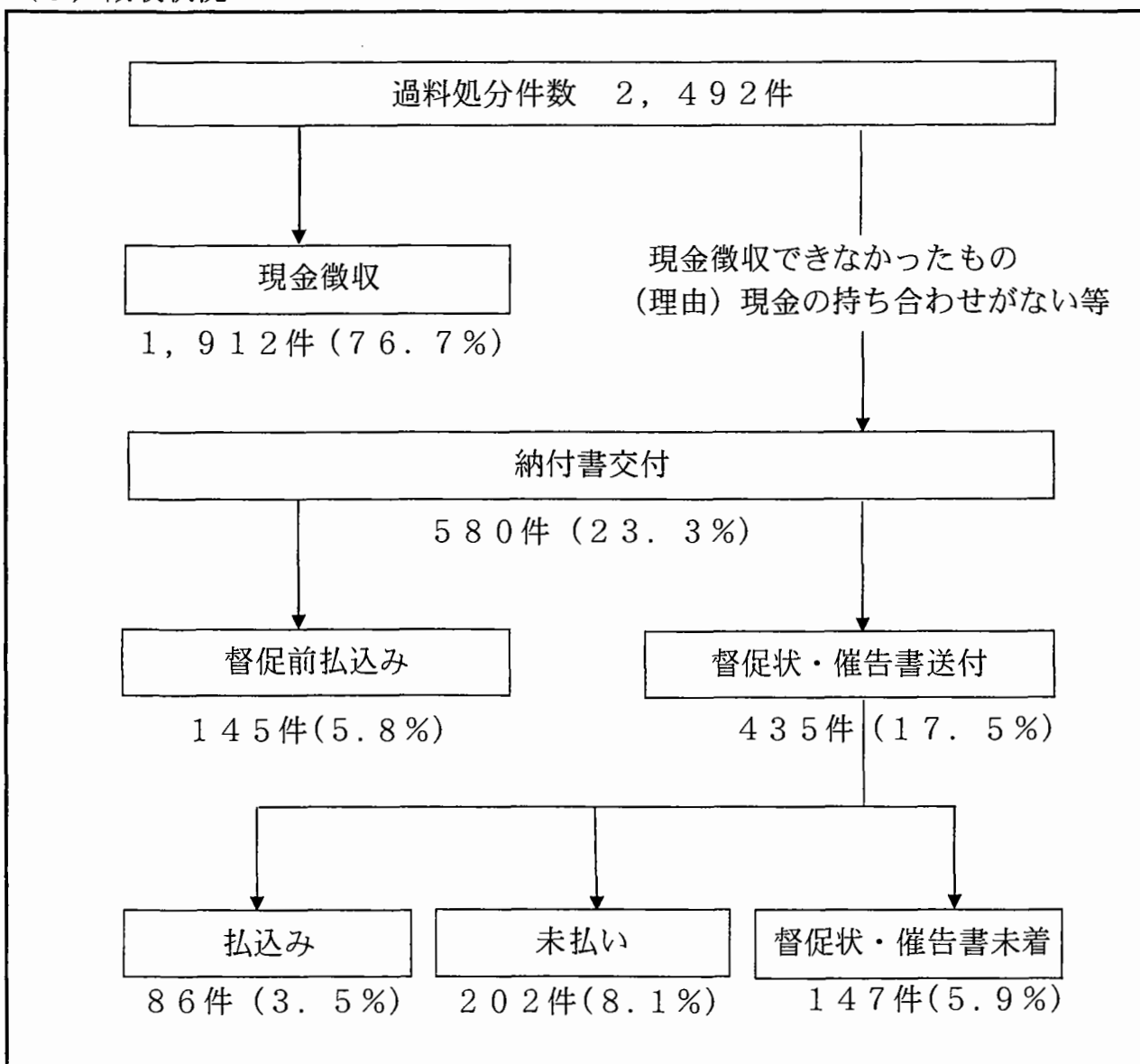
(単位：件)

処分件数	内 訳	
	収納済件数	未納件数
2, 4 9 2	2, 1 4 3	3 4 9

(2) 課題

- ・ 虚偽申告の防止のため、住所、氏名等の正確な確認
- ・ 確実に徴収するため、現金徴収に努めること

(3) 徴収状況



# 1 4 過料処分の推移と複数回処分を受けた者の数

(1) 過料処分の推移

(単位：件)

年 度	市 内 居住者	県 内 居住者	県 外 居住者	不 明	計
平成21年度	945	472	878	100	2,395
平成22年度	950	385	828	329	2,492

(注) 本人の申請による住所を集計したものである。

(2) 複数回処分を受けた者の数

(単位：人)

処分回数	人 数
2回	69
3回	7
4回	2

(注) 処分回数は、住所と氏名が一致した者を挙げている。



## 1 5 政令指定都市の喫煙率

都市名	喫煙率
名古屋市	0.034%
札幌市	0.1%
横浜市	—
新潟市	0.1%以下
京都市	0.09%
大阪市	0.2%
神戸市	0.06%
広島市	—
北九州市	0.029%

(注1) 過料処分をしている各都市が公表している平成22年度調査実績である。

(注2) 都市により調査方法等(測定時間帯、測定回数)が異なる。

(注3) 横浜市と広島市は、喫煙率の調査を行っていない。

# 16 焼却工場別の事業費と処理単価

工場名	猪子石工場	南陽工場	五条川工場	鳴海工場
〔処理方式〕	〔焼却〕	〔焼却〕	〔焼却+ 灰溶融〕	〔ガス化 溶融〕
処理量 (トン/年)	153,845	258,465	130,774	136,461
事業費 (千円)	603,781	1,961,186	1,234,270	1,700,461
職員人件費 (千円)	462,000	630,000	210,000	25,200
人件費を 含めた費用 (千円)	1,065,781	2,591,186	1,444,270	1,725,661
処理単価 (円/トン)	6,928	10,025	11,044	10,752 建設費の割賦 返済金を除い た額

(注) 鳴海工場の事業費には建設費の一部を割賦返済した額を含んでいる。

# 17 焼却工場別の維持補修費

(単位：千円)

工場名	維持補修費
猪子石工場	293,786
南陽工場	1,147,055
五条川工場	510,558
計	1,951,399

# 18 南陽工場の維持補修費の内訳

(単位：千円)

件名	工事費
1 焼却炉及び関連機器定期整備工事	345,207
2 薬液散布装置定期整備工事	163
3 計装設備定期整備工事	11,130
4 自動調節弁定期整備工事	6,300
5 誘引通風機設備等定期整備工事	24,376
6 クレーンバケット定期整備工事	15,120
7 ボイラ給水ポンプ等定期整備工事	7,823
8 サイクロ減速機定期整備工事	4,820
9 自家用電気工作物定期整備工事	21,105
10 電油操作器定期整備工事	1,208
11 各種ブロワ定期整備工事	1,848
12 空気圧縮設備定期整備工事	14,889
13 ばいじん計定期整備工事	3,218
14 清缶剤注入ポンプ等定期整備工事	977
15 飛灰処理装置定期整備工事	19,950
16 純水装置定期整備工事	8,715
17 天井クレーン定期整備工事	11,550
18 電動機定期整備工事	1,785
19 塩化水素濃度計定期整備工事	6,017
20 窒素酸化物濃度計定期整備工事	3,780
21 建築設備用圧力容器等定期整備工事	777
22 排水処理設備薬注ポンプ等定期整備工事	1,985
23 空気調和設備定期整備工事	1,260
24 監視テレビ設備定期整備工事	1,155
25 電動ホイスト定期整備工事	924
26 ごみピット表面温度監視装置定期整備工事	1,995
27 エアラインマスク用空気供給設備定期整備工事	1,995
28 ごみ投入扉用油圧ユニット定期整備工事	1,680
29 1号炉耐火物等補修工事	42,000
30 1号ボイラ水管等補修工事	199,500
31 2号ボイラ水管等補修工事	194,250
32 蒸気タービン発電機整備工事	63,000
33 3号炉耐火物等補修工事	52,500
34 バケット積出室2ごみピット点検扉補修工事	735
35 井水配管補修工事	49
36 タービントーニング装置C/Cユニット補修工事	1,155

(単位：千円)

件名	工事費
37 テレビ電波共聴受信設備幹線ケーブル移設工事	71
38 防火ダンパー補修工事	882
39 炉室南シャッター補修工事	391
40 研修室映像システム補修工事	2,289
41 中央管制室プロジェクタ補修工事	294
42 テレビ電波共聴受信設備幹線ケーブル移設工事(その2)	111
43 2号ボイラ天井水管緊急補修工事	48,825
44 テレビ電波共聴受信設備補修工事	35
45 テレビ電波共聴受信設備幹線ケーブル移設工事(その3)	146
46 水銀濃度計定期整備工事	2,363
47 吸収式冷凍機RA-2インバータ取替工事	252
48 COD分析計定期整備工事	945
49 純水装置No.2積算流量計取替工事	294
50 小型ガス湯沸器取替工事	42
51 井水配管補修工事(その2)	52
52 正面玄関入口スロープ補修工事	297
53 小型ガス湯沸器取替工事(その2)	42
54 井水配管補修工事(その3)	97
55 空調用監視制御装置整備工事	2,158
56 排ガス洗浄塔高架タンク補修等工事	2,195
57 天井クレーン性能検査整備工事	2,258
58 COD分析計補修工事	409
59 アンモニアガス検知器補修工事	294
60 塩化水素濃度計サンプリングプローブ取替工事	805
61 計算機設備補修工事	1,260
62 雑用空気脱湿装置No.1補修工事	1,754
63 高圧配電盤補修その他工事	299
64 プール用熱交換器室排気ファン取替工事	294
65 給油取扱所通気管補修その他工事	147
66 灰クレーン操作室窓ガラス清掃装置No.1補修工事	1,995
67 焼却灰重金属固定剤貯槽配管補修工事	130
68 2号炉押込送風機入口ダンパ用電油操作器補修工事	179
69 灰出コンベア室北系統排風機補修工事	226
70 計装設備補修工事	230
71 管理棟排水管補修工事	58
計	1,147,055

(注) 数字の単位未満は四捨五入としたので、計が一致しない場合がある。

## 19 溶融メタル生成量の推移

(単位：トン)

工場名	平成20年度	平成21年度	平成22年度
五条川工場	206	159	181
鳴海工場	—	3,236	3,497
計	206	3,395	3,678

(注) 鳴海工場は、平成21年7月に稼働開始した。

## 20 溶融メタルの成分

(単位：mg/kg)

分析項目	五条川工場			鳴海工場	
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度
鉄 (Fe)	760,000	610,000	710,000	840,000	750,000
銅 (Cu)	65,000	110,000	99,000	79,000	71,000
クロム (Cr)	920	6,200	3,200	7,900	8,000
亜鉛 (Zn)	270	1,600	610	540	970
マンガン (Mn)	58	650	83	2,700	2,200
カドミウム (Cd)	< 0.1	0.3	0.4	< 0.1	< 0.1
鉛 (Pb)	220	190	200	170	140
砒素 (As)	57	110	10	170	140
水銀 (Hg)	0.022	0.047	< 0.005	< 0.005	< 0.005
金 (Au)	73	140	110	39	35
銀 (Ag)	140	210	160	250	230
白金 (Pt)	32	45	52	75	20
パラジウム (Pd)	54	72	63	13	10
けい素 (Si)	61,000	56,000	51,000	21,000	18,000
カルシウム (Ca)	3,100	590	1,900	1,700	3,400
アルミニウム (Al)	1,200	240	790	640	1,300
その他	107,876	213,953	132,822	45,803	144,555
計	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

(注) 「<」 は定量下限値未満を示す。

## 2 1 五条川工場の溶融メタルの売却 単価等

事 項		平成20年度	平成21年度	平成22年度
生成量 (トン)	上期	97	99	96
	下期	109	60	85
	計	206	159	181
売却単価 (円/トン)	上期	12,600	13,650	128,100
	下期	1,050	44,100	142,275
売却金額 (千円)	上期	1,225	1,354	12,277
	下期	115	2,636	12,061
	計	1,339	3,989	24,338
売却先	上期	三井金属 リサイクル(株)	エコシステム ジャパン(株)	日鉱環境(株)
	下期	三井金属 リサイクル(株)	エコシステム ジャパン(株)	日鉱環境(株)

(注1) 数字の単位未満は四捨五入としたので、計が一致しない場合がある。

(注2) 売却単価、売却金額は消費税等を含む。



## 22 本市と他都市の溶融メタル生成量と売却金額

都市名	平成21年度		平成22年度	
	生成量 (トン)	売却金額 (千円)	生成量 (トン)	売却金額 (千円)
名古屋市	159	3,989	181	24,338
横浜市	374	188,727	—	—
広島市	330	41,483	342	75,737

(注) 横浜市は平成21年度で溶融施設を停止した。

## 2 3 溶融スラグの利活用実績

(単位：トン)

区 分	五 条 川 工 場			鳴 海 工 場	
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
アスファルト 合 材	1,009	427	2,473	3,387	6,908
路 盤 材	0	0	0	13,946	17,956
埋 戻 材	0	327	544	0	1,744
コンクリート 二 次 製 品	0	7	9	0	20
処 分 場 の 覆 土 材	4,102	3,995	1,623	3,114	0
計	5,111	4,756	4,649	20,446	26,628

(注) 数字の単位未満は四捨五入としたので、計が一致しない場合がある。

## 24 焼却工場別のCO<sub>2</sub>排出量

(排出量単位：トン・CO<sub>2</sub>)

工場名	エネルギー使用に伴う排出量	ごみ焼却に伴う排出量	売電によるCO <sub>2</sub> 削減量	計
南陽工場	2,485	62,216	△12,984	51,717
猪子石工場	580	37,033	△7,681	29,931
五条川工場	1,914	31,479	△6,064	27,330
鳴海工場	28,690	28,041	△10,150	46,580
計	33,669	158,768	△36,879	155,558

(注1) 「エネルギー使用に伴う排出量」とは、焼却工場で購入した電力、ガス及びコークス等によるものである。

(注2) 「ごみ焼却に伴う排出量」とは、ごみに含まれるプラスチックを焼却したことによるものである。

(注3) 数字の単位未満は四捨五入としたので、計が一致しない場合がある。

## 25 市民の声に寄せられた環境局への 苦情件数

(1) 事項別

(単位：件)

項 目		平成21年度	平成22年度
ご み 関 係	ごみの収集	11 (3)	10 (5)
	ごみの搬入	0	0
	3R・減量・資源化	1 (1)	1
	不法投棄	0	3 (3)
	その他	5 (1)	8 (1)
	計	17 (5)	22 (9)
産業廃棄物		0	1 (1)
路上禁煙他		5 (2)	2 (1)
環境保全		1 (1)	0
地球環境問題		0	1 (1)
大気汚染		0	1 (1)
水質汚濁		0	0
騒音・振動・悪臭他		16 (3)	6 (2)
交通公害		0	1
公害保健		0	0
その他		2	5
合 計		41 (11)	39 (15)

(注) 括弧内は各区受付分 (内数)

(2) 受付方法別

(単位：件)

項 目		平成21年度	平成22年度
市 受 付 分	面 接	1	1
	電 話	1	1
	文 書	28	22
	計	30	24
各区受付分		11	15
合 計		41	39

## 26 交通事故件数

(単位：件)

区 分	件 数	うち本市に過失があるもの
ごみ収集車	31	20
し尿収集車	1	1
連絡車	9	7
合 計	41	28

## 27 懲戒処分の概要

処 分 日	処分内容	所属及び補職	事 由
平成23年1月	停職1月	<p>緑環境事業所</p> <p>技 士</p> <p>〔平成18年度まで 天白環境事業所〕</p>	公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例違反
平成23年2月	免 職	<p>瑞穂環境事業所</p> <p>清掃運転士</p> <p>〔平成12年度まで 中村環境事業所〕</p>	覚せい剤取締法違反
平成23年2月	免 職	<p>中川環境事業所</p> <p>清掃運転士</p> <p>〔平成12年度まで 中村環境事業所〕</p>	覚せい剤取締法違反